

2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日
東

上場会社名 大阪油化工業株式会社 上場取引所
コード番号 4124 URL <https://www.osaka-yuka.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 堀田 哲平
問合せ先責任者(役職名) 専務取締役業務部長(氏名) 島田 嘉人 (TEL) 072-861-5322
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績(2023年10月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	214	△43.4	△17	—	△16	—	△14	—
2023年9月期第1四半期	379	19.8	109	103.8	109	103.3	71	123.5

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 △14百万円(—%) 2023年9月期第1四半期 71百万円(123.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	△14.44	—
2023年9月期第1四半期	68.98	68.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	1,809	1,689	93.4
2023年9月期	1,890	1,738	92.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 1,689百万円 2023年9月期 1,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,240	0.4	70	△39.3	70	△36.9	50	—	48.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年9月期1Q	1,073,500株	2023年9月期	1,073,500株
2024年9月期1Q	38,306株	2023年9月期	38,306株
2024年9月期1Q	1,035,194株	2023年9月期1Q	1,041,124株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年10月1日～2023年12月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、経済活動の正常化による個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかな回復を続けております。しかしながら、国際情勢が一段と不安定化しており、中国や欧米を中心に海外の景気減退の可能性や原材料・エネルギーコストの高止まりによる物価高、地政学リスクの拡大等により、先行きは依然として不透明な状況にあります。当社グループを取り巻く事業環境においては、半導体・電子材料関連の市況に底打ちの兆しが見えつつあるものの、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は2023年11月9日に公表しました3か年中期経営計画(2024年9月期～2026年9月期)に基づき、

- ①計画的な設備更新による性能の維持向上
- ②輸出用商材の開発による海外展開の推進
- ③既存技術・ノウハウを活用した新規事業の創出

等の企業活動に取り組み、長期的な企業価値向上に努めております。

受託蒸留事業では、前期に生じた一部の主要顧客との取引の縮小に加え、半導体・電子材料向けの需要回復が遅れており、本格回復には至っておりません。また、プラント事業では、展示会への出展や広報活動等を通じて、引き続き自社オリジナル装置の販路拡大に努めております。以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、214,618千円(前年同期比43.4%減)となりました。利益面におきましては、全社的なコスト削減に努めたものの、減収による影響をカバーしきれず、営業損失は17,715千円(前第1四半期連結累計期間は営業利益109,405千円)、経常損失は16,837千円(前第1四半期連結累計期間は経常利益109,174千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は14,945千円(前第1四半期連結累計期間は親会社株主に帰属する四半期純利益71,815千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

(受託蒸留事業)

受託蒸留事業におきましては、医薬品・石油等に関連する蒸留案件の引き合いは引き続き好調だったものの、前期に生じた一部の主要顧客との取引の縮小及び半導体・電子材料向けの落ち込みが大きく、受託蒸留事業の売上高は206,284千円(前年同期比40.7%減)、セグメント利益は61,097千円(前年同期比65.5%減)となりました。

(プラント事業)

プラント事業におきましては、2024年1月以降の蒸留装置・ろ過装置に関する安定的な引き合いはあるものの、当第1四半期連結累計期間はメンテナンス・消耗品販売が中心となったことにより、プラント事業の売上高は8,334千円(前年同期比73.6%減)、セグメント損失は13,150千円(前第1四半期連結累計期間はセグメント損失3,646千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ81,405千円減少し、1,809,450千円となりました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ66,337千円減少し、985,017千円となりました。主な要因は、商品及び製品が6,594千円増加した一方、現金及び預金が60,514千円、受取手形、売掛金及び契約資産が10,171千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ15,068千円減少し、824,433千円となりました。主な要因は、機械装置及び運搬具（純額）が9,744千円、建物及び構築物（純額）が5,383千円減少したことによるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ32,098千円減少し、120,109千円となりました。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ32,103千円減少し、113,028千円となりました。主な要因は、預り金が6,503千円増加した一方、賞与引当金が19,100千円、未払金が13,889千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ4千円増加し、7,080千円となりました。主な要因は、資産除去債務が4千円増加したことによるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ49,306千円減少し、1,689,340千円となりました。主な要因は、剰余金の配当等により、利益剰余金が49,306千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績予想につきましては、2023年11月9日付「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。当第1四半期連結累計期間において、半導体・電子材料向けの需要回復が遅れているものの、2024年4月以降は拡大に転じるものと見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	814,203	753,689
受取手形、売掛金及び契約資産	86,347	76,175
電子記録債権	9,382	11,953
商品及び製品	24,628	31,222
仕掛品	21,564	22,985
原材料及び貯蔵品	40,676	41,788
前払費用	23,311	15,526
未収還付法人税等	19,564	20,140
その他	11,675	11,534
流動資産合計	1,051,354	985,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	415,897	410,514
機械装置及び運搬具（純額）	152,701	142,956
土地	157,071	157,071
建設仮勘定	23,568	26,451
その他（純額）	43,741	40,806
有形固定資産合計	792,980	777,801
無形固定資産		
ソフトウェア	3,176	2,700
その他	429	429
無形固定資産合計	3,606	3,129
投資その他の資産		
長期前払費用	1,941	1,165
繰延税金資産	30,338	31,518
その他	10,634	10,819
投資その他の資産合計	42,914	43,502
固定資産合計	839,501	824,433
資産合計	1,890,856	1,809,450
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,480	4,386
未払費用	35,326	37,102
未払金	41,622	27,733
未払法人税等	2,902	1,828
未払消費税等	13,606	12,838
賞与引当金	25,488	6,388
預り金	13,319	19,822
その他	387	2,927
流動負債合計	145,132	113,028
固定負債		
資産除去債務	7,076	7,080
固定負債合計	7,076	7,080
負債合計	152,208	120,109
純資産の部		
株主資本		
資本金	346,497	346,497
資本剰余金	313,039	313,039
利益剰余金	1,135,883	1,086,576
自己株式	△56,773	△56,773
株主資本合計	1,738,647	1,689,340
純資産合計	1,738,647	1,689,340
負債純資産合計	1,890,856	1,809,450

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2023年12月31日)
売上高	379,410	214,618
売上原価	166,652	133,316
売上総利益	212,757	81,302
販売費及び一般管理費	103,352	99,017
営業利益又は営業損失(△)	109,405	△17,715
営業外収益		
受取手数料	5	2
確定拠出年金返還金	—	333
その他	—	704
営業外収益合計	5	1,040
営業外費用		
支払手数料	235	—
固定資産除却損	0	163
その他	0	—
営業外費用合計	235	163
経常利益又は経常損失(△)	109,174	△16,837
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	109,174	△16,837
法人税、住民税及び事業税	18,352	153
法人税等調整額	19,006	△2,045
法人税等合計	37,359	△1,892
四半期純利益又は四半期純損失(△)	71,815	△14,945
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	71,815	△14,945

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	71,815	△14,945
四半期包括利益	71,815	△14,945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,815	△14,945
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	受託蒸留事業	プラント事業	合計		
売上高					
受託加工	297,309	—	297,309	—	297,309
研究開発支援	50,541	—	50,541	—	50,541
プラントサービス	—	31,560	31,560	—	31,560
顧客との契約から生じる収益	347,850	31,560	379,410	—	379,410
外部顧客への売上高	347,850	31,560	379,410	—	379,410
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	24,988	24,988	△24,988	—
計	347,850	56,548	404,399	△24,988	379,410
セグメント利益又は損失(△)	177,124	△3,646	173,478	△64,073	109,405

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額の△64,073千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△64,925千円、セグメント間取引消去852千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	受託蒸留事業	プラント事業	合計		
売上高					
受託加工	158,585	—	158,585	—	158,585
研究開発支援	47,698	—	47,698	—	47,698
プラントサービス	—	8,334	8,334	—	8,334
顧客との契約から生じる収益	206,284	8,334	214,618	—	214,618
外部顧客への売上高	206,284	8,334	214,618	—	214,618
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	19,182	19,182	△19,182	—
計	206,284	27,516	233,800	△19,182	214,618
セグメント利益又は損失(△)	61,097	△13,150	47,946	△65,661	△17,715

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額の△65,661千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△68,086千円、セグメント間取引消去2,425千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。